

# 1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます

## (1) 個性と魅力を活かすまちづくりの推進

現状と課題

瑞穂区の魅力といえば、「さくらの名所 100 選」に認定された山崎川の桜が有名です。また、大曲輪遺跡<sup>おおぐるわ</sup>や藤原師長<sup>たつきよ</sup>謫居跡などの史跡が数多く存在しているほか、区の西部を中心に工場や事業所が数多く立地しているなど様々な側面が見られます。

これまでも瑞穂区では、「MIZUHO さくらまつぷ」や「史跡散策路」により魅力の発信につとめてきましたが、今後も引き続き魅力の発信をしていくことが必要です。

※謫居…罪によって、自宅に引きこもったり、遠くの土地へ流されたりしていること。また、その地の住居。

◇区別産業大分類別事業所数（製造業）

	名古屋市内	瑞穂区内
製造業の事業所数	11,299	387
従業員数が1,000人以上の製造業の事業所数	6	2 (16区中、1番目)

平成24年経済センサス基礎調査

指標

事項	25年度	26年度（目標）
区民アンケート 「瑞穂区が魅力的なまちだと思う人（※）」の割合	90.2%	90%以上
瑞穂区産業PR事業参加者アンケート 「瑞穂区の魅力のひとつが産業文化だと感じた人」の割合	96%	95%以上

※「思う」「まあまあ思う」と回答した方

主な取り組み

○サクラのまち瑞穂づくり（さくら写真展、さくらスイーツコンテスト、山崎川のライトアップ、開花状況の区ホームページ等での発信 など）（まちづくり推進室・土木事務所）

「瑞穂のさくら写真展」や、サクラにちなんだスイーツのレシピのコンテストなどを開催し、瑞穂区の区の木、区の花であるサクラを通じて瑞穂区の魅力を発信します。

また、開花状況を瑞穂区のツイッターやフェイスブックでお伝えするほか、山崎川の夜桜を楽しんでいただけるよう、3月下旬～4月上旬にライトアップを行います。



【サクラ（瑞穂区の区の木、区の花）】

・瑞穂区産業文化PR（まちづくり推進室）

工場見学バスツアーなど、瑞穂区内の産業文化（ものづくり文化）に触れていただき、産業文化を区の魅力のひとつとして発信するための事業を実施します。

・音楽による地域のにぎわいづくり（まちづくり推進室）

サクラの開花時期など、季節の折々にコンサートを開催するほか、各種イベント等での演奏を通じて、地域住民・学校・企業などの交流の機会とにぎわいを創出します。

◎瑞穂区の魅力発信イベントの開催（まちづくり推進室）

区の名所・特色をいかしたイベントの開催を通じて、独身の男女のコミュニケーションの場とするとともに相互の価値観を学ぶ機会を設けます。

◎瑞穂区史跡散策路マップの活用（まちづくり推進室）

区内の歴史や文化を身近に感じていただけるよう区内の史跡を案内するマップを一部改訂・印刷し、イベント等で活用します。

・「なごや学マイスター講座」の開催（生涯学習センター）

趣のある建物や史跡などのまち歩きを通して区の魅力について学び、区民のみなさまにもその魅力を広めていける人材を育成するための講座を開催します。

・「なごや学講座」の開催（生涯学習センター）

歴史や文化、産業、自然などの視点から名古屋市や地域の魅力について学ぶ講座を開催します。また、区の魅力発信のため、区の花「サクラ」を使った「さくらスイーツ」を広める事業を実施します。



【音楽による地域のにぎわいづくり】



【史跡散策路マップ】

区民アンケートでいただいたご意見

☆テレビの街歩き番組等での登場がやや少ない気がするので、多彩なエリアカラーや歴史など、区の魅力をもっと発信してほしいと思っています。

☆小さい区にもかかわらず、全国的な企業や多くの学校が存在するのだから、その地の利を活かし、連携での活動を行っていくのはいかがでしょうか。

☆山崎川の桜が美しいのが自慢できるように、瑞穂区がもっともっと美しく、住んでいて幸せになれるような環境づくりをしていただけたらと思っています。

# 1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます

## (2) 地域とともにすすめるまちづくりの推進

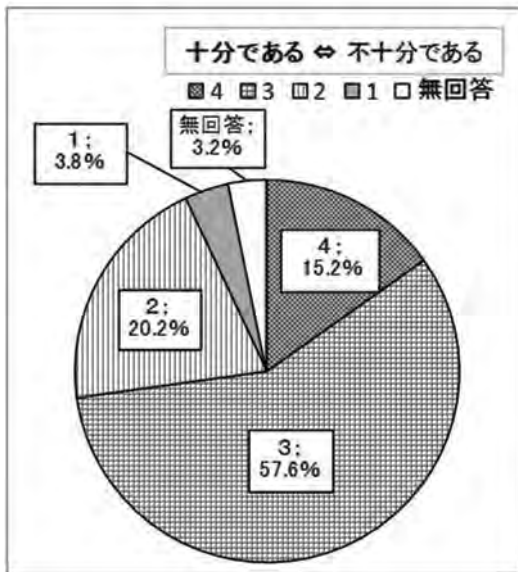
現状と課題

区民まつりを始めとした区民との協働によるまちづくり事業は、区民が相互に交流する機会となっているとともに、区民が地域活動に参加する契機となっています。今後、さらに区の特長・魅力を活かしながら、様々な年齢層や団体との交流の機会を提供することにより、地域の誰もが、地域の活動に主体的に参加ができるまちづくりをめざしていきます。

◇「地域とともにすすめるまちづくりの推進」の取り組み成果

◇生涯学習センターまつり・春の子どもまつり のべ参加者

単位：人



平成 25 年度瑞穂区区民アンケート結果

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
センターまつり	2,933	2,708	3,379	— (注)
子どもまつり	1,743	2,436	1,736	2,154

(注)：台風の影響により中止



【瑞穂区民まつり】

指標

事項	25 年度	26 年度 (目標)
区民アンケート 地域の事業やイベントに参加した人の割合	59.8%	60%

主な取り組み

- ・瑞穂区民まつり 2014 の開催 (まちづくり推進室・生涯学習センター)  
企画・運営を地域団体とともにやり、出展・出店・発表の場を提供することで、区民・学校・団体・企業と行政の協働、地域コミュニティを始めとする区内全体の活性化をめざして、瑞穂公園レクリエーション広場及び生涯学習センターで開催します。
- ・「ヤングサポーターみずほ」の活動支援 (まちづくり推進室)  
区内 7 校の高校生が安心・安全で快適なまちづくりの実現にむけて、行政・地域と連携し、交通安全市民運動や青少年の健全育成運動、区民まつりなどに参加します。
- ・学生との協働による区の魅力発信 (まちづくり推進室)  
区内大学等の学生との協働により、ウェブなどを活用し新しい視点で幅広い世代へ区の魅力を発信します。

・町内会・自治会への加入促進の支援（まちづくり推進室）

大規模災害等の際に共助の主体となりうる町内会・自治会の活動について「広報なごや」などの広報媒体で広く紹介する等により、新たな地域活動の担い手を探し出し地域の絆づくりをすすめられるようつとめます。

・環境学習会運営支援事業（まちづくり推進室）

平成21年度に作成した環境学習プログラムやこれまでに開催した環境学習会の実施内容を活かし、講師の派遣など地域が主体となった環境学習会の開催を支援します。

・ソーシャルメディア講習会の開催（まちづくり推進室）

ツイッターやフェイスブックなどソーシャルメディア※を活用して発信する情報を、より多くの区民のみなさまに利用いただけるよう、また、地域コミュニティの新たなコミュニケーション手段として利用いただけるよう、講習会を開催します。

※ソーシャルメディア・・・インターネット上で利用者が情報を発信し形成していくメディア。利用者同士のつながりを促進する様々な仕組みが用意されている。例：ブログ、SNS（フェイスブック等、友人を紹介しあう交流支援サービス）、ミニブログ（ツイッター等）

・生涯学習センターで活動する自主グループの支援（生涯学習センター）

生涯学習センターで活動する自主グループの活動の成果を、センターの講座や体験教室として活用するだけでなく、様々な場所や機会でも発揮できるよう支援します。

・生涯学習センターまつり、春のこどもまつりの開催（生涯学習センター）

生涯学習センターで活動する自主グループの成果発表と、地域住民の方々との交流の場として生涯学習センターまつりを開催します。また、センターの学習支援スタッフと、公募ボランティアの小中学生との協働で「春のこどもまつり」を開催します。

・公園愛護会・街路樹愛護会・川を美しくする会の支援（土木事務所）

協働により安心・安全で清潔な公園・街路樹・河川を維持するとともに、制度・活動事例の紹介や、新規設立の呼びかけを行います。

・歩道橋ネーミングライツ、街路灯パートナーの普及（土木事務所）

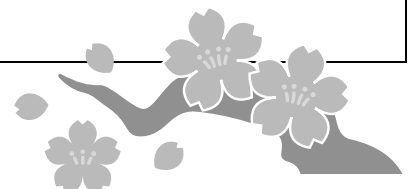
多くの法人が地域貢献に協力いただけるよう、「歩道橋ネーミングライツ」「街路灯パートナー」の制度について紹介します。



区民アンケートでいただいたご意見

☆区民まつり楽しみにしています。

☆防犯・防災・子どもの見守り・高齢者の孤立防止など、地域・町内の組織が連携した具体的な活動プランを作り、日常的な活動に結びつける方法を考えてほしい。



## 2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

### (1) 災害に強い安心なまちづくりの推進

現状と課題

東日本大震災を契機として、大地震への対策が重要視される中、名古屋市では、昨年度末に南海トラフ巨大地震の被害想定を発表し、地震・津波ハザードマップを配布しました。瑞穂区では、震度が6弱から6強、津波浸水深が区の南西部で1.5m未満との被害想定が出されました。(あらゆる可能性を考慮した最大クラス地震の場合)

さらに、災害は地震だけでなく、台風や近年多発するゲリラ豪雨等による風水害もあり、これらの災害に対する対策や備えも必要です。

災害による被害を軽減するためには、行政による防災対策の充実も重要ですが、区民一人ひとりが日頃から災害に備え、防災意識の向上をはかる必要があります。

◇過去5年間の区役所の非常配備数及び洪水等による避難勧告数

年度	非常配備	避難勧告	備考
21	7	1	うち地震による配備1件
22	4	1	うち地震による配備1件
23	9	1	
24	10	0	
25	5	0	

◇避難所運営リーダー研修受講者数

年度	受講者数(人)	受講者数累計(人)
23	41	41
24	38	79
25	37	116

◇平成25年度「自助力向上の促進事業」実施状況 (平成26年1月末現在)

	回数	人数
瑞穂区	146	7,418
名古屋市	1,699	146,015

◇南海トラフ巨大地震の瑞穂区の被害想定 (平成25年度公表 抜粋)

※詳細は名古屋市ウェブサイトをご覧ください。

		過去考慮*1	あらゆる可能性考慮*2
最大震度		6弱	6強
津波	浸水予想学区	穂波	高田、堀田、穂波、井戸田
	最大津波浸水深	1.0m未満	1.5m未満
	浸水開始時間	240~720分	120~720分
死者数(人) (冬・深夜)	対策前	約20	約200
	対策後*3	約10	約60
地震動による 全壊棟数(棟)	対策前	約300	約1,500
	対策後*3	約100	約300

\*1 概ね100~200年おきに起こった過去の地震を考慮した最大クラスの地震  
\*2 千年に一度あるいはそれより発生頻度は低いが大規模な被害をもたらす地震  
\*3 建物の耐震化率100%の達成、家具等の転倒・落下防止対策実施率100%達成、適切な避難行動等

対策をすることによって、かなりの被害が軽減できます。

指標

事項	25年度	26年度(目標)
避難所運営リーダー研修受講者の活動数	141回	180回

◎避難所運営リーダー主導による避難所訓練の実施（総務課）

いざという時に地域住民の力で効果的に避難所運営ができるよう、地域の避難所運営リーダーが中心となり、津波対策や帰宅困難者対策など地域の特性を踏まえた訓練を全学区で実施します。



【避難所運営リーダー研修】

◎親子のための防災セミナー（総務課）

子どものいる家庭向けに、災害時に身を守るよう、家庭でできる防災・減災について学ぶためのセミナーを開催します。

・助け合いの仕組みづくり（総務課）

災害時要援護者を支援する仕組みづくりに取り組む地域を拡大するとともに、支援計画に沿った訓練が実施できるよう地域を支援し、関係機関との連携をはかります。

・津波避難ビルの指定（総務課）

一時避難場所として津波避難ビルを指定するとともに、津波避難に対する啓発等を行います。

◇瑞穂区の津波避難ビル

学区	名称	所在地	建物の階数	収容人員
堀田	堀田小学校（北校舎棟）	新開町 24 番 13 号	4 階建	876
	堀田小学校（南校舎棟）	〃	3 階建	131
	新開荘	新開町 16 番 35 号	12 階建	680
	びい V 堀田	惣作町 2 丁目 2 番地	9 階建	120
	医療法人幸世会介護老人保健施設セントラル堀田	田光町 1 丁目 4 番地	8 階建	496
穂波	田光中学校（校舎棟）	内浜町 5 番 16 号	3 階建	702
	穂波小学校（体育館棟）	河岸一丁目 1 番 38 号	3 階建	193
	穂波小学校（南校舎棟）	〃	3 階建	388
	浜新開荘 1 棟	神穂町 6 番 1 号	10 階建	950
	グレース堀田	明前町 1 番 8 号	11 階建	147
	名鉄交通株式会社南ビル	浮島町 5 番 1 号	9 階建	273
井戸田	井戸田小学校（北校舎棟）	姫宮町 1 丁目 46 番地	4 階建	120
瑞穂	瑞穂小学校（西校舎棟）	牧町 2 丁目 46 番地	3 階建	401
	津賀田中学校（管理棟）	津賀田町 1 丁目 38 番地	4 階建	450
中根	中根小学校（北校舎棟）	井の元町 50 番地	4 階建	410
	瑞穂アーバンホテル	弥富通 5 丁目 46 番地の 2	7 階建	280

・災害対策の充実（家庭で行う防災対策の周知・啓発など）（消防署）

小学校区単位で組織された防災安心まちづくり委員会を中心とした住民参画型の防火防災活動をすすめて、地域や事業所による自主的な助け合い活動を推進します。また、家具の固定、非常持ち出し品の選択、逃げ道の確認など、家庭で行う防災対策の普及促進をはかります。

・防災に関する講座の開催（生涯学習センター）

自然災害のメカニズムや、区内で想定される被害状況と防災・減災について学び、防災に対する意識を高める講座を開催します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆区役所へ行かなくても津波避難ビルの場所がわかるようにしてください。

☆地震に備え、町内単位の訓練や、ひとり暮らしの高齢者に声かけするボランティアを考えてください。

☆水・食料の備蓄等をはじめ、区民の自立的行動への啓発も望まれます。

## 2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

### (2) 安全なまちづくりの推進

現状と課題

瑞穂区は、平成 25 年重点 10 罪種認知件数が 16 区中最も少なく、発生率でも最も低い区です。また交通事故（人身事故）件数でも 3 番目に少ない、比較的安全な区です。

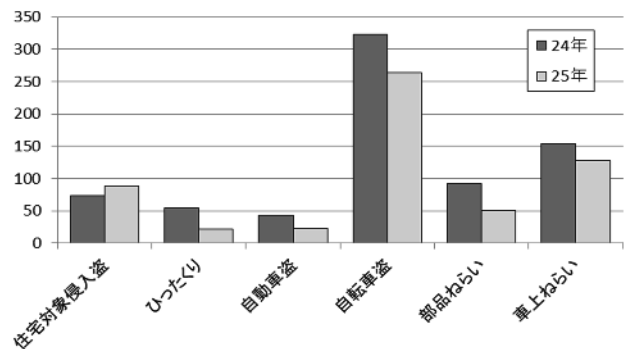
瑞穂区内の犯罪件数は、平成 15 年をピークに概ね減少しており、平成 25 年も前年に比べ減少しています。犯罪種別にみると、自転車盗の認知件数が重点犯罪の約 39% を占めており、住宅対象侵入盗が微増しています。

瑞穂区内の交通事故については、平成 25 年の交通事故死傷者数は平成 24 年と比べ減少していますが、死者数は 1 人から 5 人と大幅に増加しています。交通死亡事故の特徴としては、交差点での高齢者の事故が目立っています。

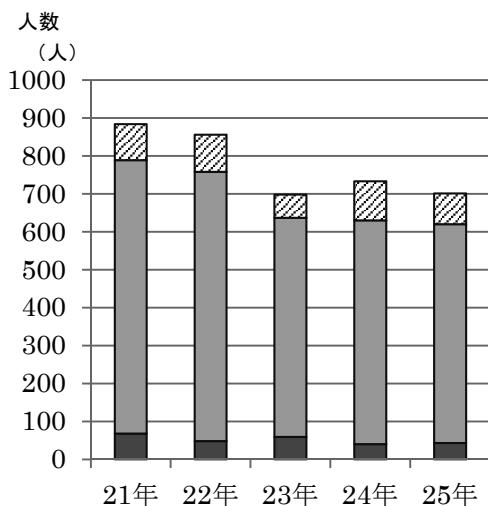
こうした状況を鑑み、防犯、交通安全ともにパトロールや啓発活動などにさらに力を入れて取り組んでいく必要があります。



◇瑞穂区重点罪種発生件数（上位 6 件）



◇瑞穂区交通事故死傷者数



◇瑞穂区交通事故死者数

年度	21	22	23	24	25
人数	0	2	1	1	5



指標

事項	25年度	26年度（目標）
青色回転灯パトロール実施回数	28回	28回以上
交通安全啓発活動実施回数	38回	38回以上

・防犯対策（まちづくり推進室）

小学校通学路や該当犯罪多発地域を中心に、警察署等と連携してパトロールを継続して実施します。また、防犯キャンペーンや啓発活動、地域防犯に関する地域での取り組みを推進します。

○交通安全対策の推進（瑞穂区マスコットキャラクターを活用した啓発、交通安全施設の設置）

（まちづくり推進室・土木事務所）

各学区にて交通安全講習会の開催、学校等での行事への交通指導員の派遣交通指導を行います。また、自転車利用者への啓発活動により意識の向上をめざします。瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」の活用により、より効果的な啓発をはかります。

また、街路灯やカーブミラーなどの交通安全施設の設置・維持管理を行います。



【交通事故防止キャンペーン】

・歩道のバリアフリー化の推進（土木事務所）

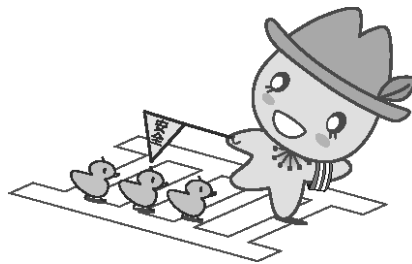
横断歩道箇所における歩道の切り下げと視覚障害者誘導ブロックの設置を併せて行うことで、バリアフリー化をすすめます。

・通学路安全対策の推進（土木事務所）

小学校から半径 300 メートル以内の、歩道のない通学路において、路肩カラー舗装もしくは路面への「通学路」標示を行います。

・路面下空洞対策の推進（土木事務所）

調査により 10 センチメートル以上の空洞があると判明した箇所において、空洞補修の工事を実施します。



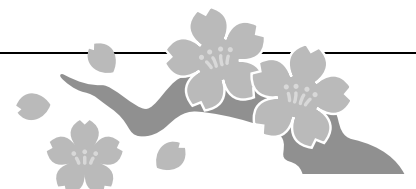
【通学路安全対策】

区民アンケートでいただいたご意見

☆区役所と警察の連携を強化し防犯に力を入れてほしい。

☆瑞穂区は住みやすい地域だと感じます。今まで以上に安心・安全な町になるよう地域住民も協力しなければいけないと思います。街灯を増やし、明るい町にしていきたいと思います。

☆信号を守るなど、大人の意識改革が必要だと思っています。





## 2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

### (3) 快適な環境づくりの推進

現状と課題

瑞穂区では平成18年度に「瑞穂区エコライフのまちづくり宣言」を行い、以降環境先進区をめざした取り組みを実施し、環境意識の向上をはかってまいりました。その中の取り組みの一つにあるように「ごみも資源も、元から減らす」発生抑制の視点で取り組みをすすめ、ごみの排出量を減らすことが重要です。

また、犬の苦情相談件数は減少してきていますが、猫の苦情相談件数は減少しておらず、飼い主のさらなるマナー向上が重要となっています。

◇瑞穂区ごみ収集量の推移（単位：t）

21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
20,660	20,388	20,373	20,400	20,249

※ごみ収集量は、市が収集した可燃、不燃、粗大、環境美化のごみ量の合計

◇犬・猫の苦情相談件数の推移

	23年度	24年度	25年度
犬	111	88	77
猫	158	124	155

指標

事項	25年度	26年度（目標）
区民アンケート「犬のふんが気にならない」人の割合（※）	31.2%	35%
区内年間ごみ排出量	20,249 t	前年度より減

※「気にならない」「あまり気にならない」と回答した方

主な取り組み

・「環境デーみずほ2014」の開催（まちづくり推進室）

汐路学区を中央会場として、楽しく環境について学べるイベントを実施します。

・新瑞橋クリーン作戦の推進（まちづくり推進室）

美化推進重点地域である新瑞橋及び山崎川周辺の清掃活動を、関係公所との連携をはかりながら実施します。

・水辺の生き物観察教室などの環境学習イベントの開催（保健所）

山崎川親水広場における水辺の生き物観察教室をはじめ、地域の集まりや環境学習のイベントなど様々な機会をとらえて、環境学習を推進します。



【環境デーみずほ】

・「愛犬クイズラリー」の開催（保健所・瑞穂運動場）

11月に、犬の散歩が多い山崎川沿道で、犬の飼い方マナーアップに関するクイズラリーを開催します。ゴール地点ではなんでもしつけ相談や飼い主の方への健康づくりアドバイスなども行います。



【愛犬クイズラリー】

・犬や猫の飼い方教室の開催（保健所）

犬や猫による迷惑発生防止のため、犬のしつけ方教室や猫の飼い方教室を開催し、猫の室内飼育や身元表示の推奨など、飼い主への指導及び啓発をすすめます。また、ご希望の方に猫の迷子札も配布します。

・河川の清掃活動（土木事務所・瑞穂運動場）

社団法人名古屋建設業協会の協力により山崎川の清掃及び河川に関する情報収集を行い、細やかな河川の維持管理を実施します。

○ごみ・資源の分別、適正排出の促進（環境事業所）

小学校出前授業を行うほか、イベントなど様々な地域の活動の機会をとらえて、ごみ減量、分別及び排出抑制の意義、必要性等についての啓発をすすめていきます。

また、平成26年2月1日に開始した小型家電リサイクルについても幅広く周知していきます。



【小型家電回収ボックス】

・不法投棄の防止（環境事業所）

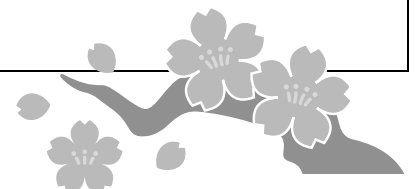
廃棄物の不法投棄を防止するため、不法投棄の要注意場所の巡回パトロールや夜間パトロールを実施します。

・ごみ・資源の収集における区民サービスの向上（環境事業所）

丁寧で確実なごみ・資源の収集に取り組みます。また、高齢者や障害者などのひとり暮らし世帯で、ごみや資源を所定の場所まで出すことが困難な世帯を対象に、原則として玄関先で収集する「なごやか収集」を実施します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆犬のふんのマナーの悪さが気になります。飼い方マナーアップの啓発活動にさらに力を入れてください。  
 ☆猫のごみあさり、ふん害に困っています。猫の飼い方についても啓発を行ってください。



### 3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

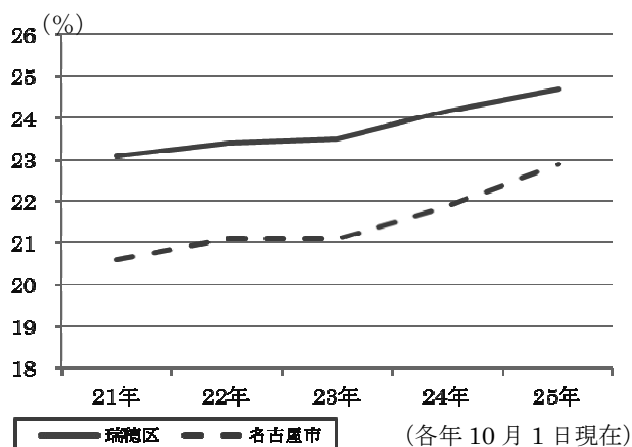
#### (1) 福祉活動の推進

現状と課題

瑞穂区の高齢化率（65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合）は名古屋市平均より高く、高齢化が進んでいます。ひとり暮らし高齢者数も年々増加傾向にあり、地域ぐるみの見守りや支援が必要です。

また、障害者支援をすすめるため関係機関との連携を強化するとともに、障害者に対する「心のバリアフリー」をはかることが、障害者が地域の中で普通に暮らしていくための課題となっています。

◇瑞穂区における高齢化率推移



※公簿人口（住民基本台帳人口と外国人登録人口を合算したもの。25年は住民基本台帳人口）による

◇65歳以上1人世帯数の推移

(各年 10月1日現在)

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
名古屋市	68,620	70,437	84,413	86,973
瑞穂区	3,921	3,806	4,507	4,694

※平成22年国勢調査確定値に基づく推計

指標

事 項	25 年度	26 年度 (目標)
地域支えあいマップの更新に取り組んでいる学区数	7 学区	11 学区
みずほ介護フェスタの参加者数	795 人	1,500 人

◎高齢者世帯への緊急時医療情報ツールの普及（福祉課）

医療情報や緊急連絡先を把握するためのツールを高齢者世帯に提供し、ご本人や周りの方が緊急時への備えとして活用できるようにします。

・ご近所での見守り・支えあい活動の推進（区社会福祉協議会）

「地域支えあいマップづくり」や「ふれあいいきいきサロン」等を通して、区民のみなさまによるひとり暮らし高齢者を見守る「ふれあいネットワーク活動」を推進します。

◎地域包括ケア推進計画に基づく地域包括ケアシステムの構築（区社会福祉協議会）

平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 か年の「地域包括ケア推進計画」に基づき、孤立死防止、認知症に対する啓発、介護者の支援のための、いきいき支援センターの活動を充実させます。

・福祉会館事業の実施（区社会福祉協議会）

仲間づくり、介護予防などを目的に、わくわく通所事業、各種講座、入浴サービス、同好会活動を実施しています。また、併設する児童館との交流事業もすすめます。

○「みずほ介護フェスタ'14」の開催（福祉課）

介護に関する展示やイベントを広く区民に参観してもらい、介護保険制度のPRを行います。テーマをデイサービス利用者の作品展から介護保険制度全般に広げ、会場も講堂に移し展示やイベントの内容を充実させます。



【みずほ介護フェスタ】

・障害を理解し、お互いに助け合う地域づくりの推進（福祉課）

瑞穂区自立支援協議会と協力し、障害について正しく理解できるための機会として、平成 26 年度は「防災」をテーマにシンポジウムを開催します。また、毎月 1～2 回、区役所庁舎内において事業者による授産製品の販売を実施します。

・福祉ボランティア活動の推進（区社会福祉協議会）

区社会福祉協議会ボランティアセンターで、ボランティアに関する情報提供や相談、コーディネート等を推進します。また、小学生向けボランティア体験講座なども開催します。

◎第 3 次地域福祉活動計画の推進（区社会福祉協議会）

地域や関係団体によるプロジェクトチームを設置し、平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間の「第 3 次地域福祉活動計画」の実施方法を検討し、事業を推進します。計画の実施により、住民が主体となった、地域における助け合い・支え合いの活動の推進をめざします。

区民アンケートでいただいたご意見

☆高齢化社会に向けて、地域住民を交えた高齢者対策に組織的に取り組む必要があると思います。とくにひとり暮らし高齢者が気になります。

☆高齢者や障害者の目線に立っての対応をお願いします。

### 3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

#### (2) 子育て支援の推進

現状と課題

名古屋市の人口構成をみると、15歳未満の子どもについて10年前と比べ人口、構成比ともに減少しており、少子化が進行しています。

また、核家族化の進行により、子育てに悩みや不安を抱えている人もたくさんいます。保護者自身が子育てを楽しみ、子どもと十分に向き合い、子どもの育ちを支えていくことができるような仲間づくりや相談の場を提供することにより、子育ての不安感・負担感や孤立感の軽減につとめる必要があります。

◇15歳未満人口 (各年10月1日現在)

	名古屋市	構成比	瑞穂区	構成比
平成15年	297,553人	13.6%	12,578人	12.1%
平成20年	294,160人	13.1%	12,607人	12.0%
平成25年	286,519人	12.6%	12,785人	12.2%



名古屋市年齢5歳階級別人口(全市・区別)より

◇子育て相談件数

	23年度	24年度	25年度
瑞穂区子育て相談件数 (子育て総合相談窓口相談件数)	4,045件	3,637件	3,626件

指標

事項	25年度	26年度(目標)
さくらひろば参加者アンケート 「大変良かった」「良かった」と答えた人の割合	93.7% (※)	95%以上
子育てサロンでの保健師による 健康教育の回数	50回	70回
中高生の居場所づくりの参加者数	640人	900人
移動児童館の開設回数	4回	12回

※さくらひろば参加者アンケートについては24年度の結果です。

主な取り組み

#### ○児童虐待のないまちづくりの推進(民生子ども課)

児童虐待防止に向けて、学校や主任児童委員との連携強化をはかり、子どもに対する見守りを充実させます。また、5月及び11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に啓発事業を開催し、子どもを地域で守り育てる意識の向上をはかります。

#### ○瑞穂区子育てサロン「さくらひろば」の実施(民生子ども課・保健所)

子育て家庭の孤立防止と育児に対する不安解消を目的として、未就園の子どもとその保護者を対象に、交流の場となる子育てサロンを実施します。サロンの実施にあたり関係機関と連携し、保健所の保健師・栄養士・歯科衛生士による出張子育て相談も行います。

平成26年度は、子育てのノウハウを体験的に学習する「親支援プログラム」も実施します。



【さくらひろば】

○子育て情報の発信（民生子ども課）

瑞穂区における子育て情報を迅速かつ正確に発信できるよう、関係団体と連携して、各種ウェブサイトの内容充実やソーシャルメディアとの連動、管理体制づくりをはかります。また、瑞穂区子育てマップをリニューアルし、活用をはかります。

◎子どもの事故予防・心肺蘇生法の普及（保健所）

事故予防教室を実施するとともに、保健所や地域の子育てサロンなどで心肺蘇生法の講習会を行い、親が子どもの命を守れるようにするため、事故予防・応急手当の普及啓発をはかります。



【事故予防教室】

○妊婦を対象とした「絵本の読み聞かせ」（保健所・図書館）

母性を豊かにはぐくむための絵本の紹介や絵本の読み聞かせ等を実施します。平成 26 年度は回数を増やします。

・保健師による妊婦等へのブックスタート（保健所・図書館）

育児支援の必要と思われる妊産婦に、親子で楽しめる絵本を保健師が手渡し、母性をはぐくみ、育児を楽しめる子育て支援につなげます。



・転入赤ちゃん訪問事業の実施（民生子ども課）

1 歳未満の赤ちゃんを連れて転入世帯に、主任児童委員と民生委員児童委員による赤ちゃん訪問を実施します。名古屋市の赤ちゃん訪問よりも対象を拡大して実施しています。

・「子どもの公園マップ」の普及（保健所・土木事務所）

瑞穂区内の公園の情報をまとめた「子どもの公園マップ」を母子健康手帳発行時等に配布するほか、保健所などに設置しています。

（※「子どもの公園マップ」は瑞穂区ウェブサイトでご覧いただけます）



○児童館事業の実施（区社会福祉協議会）

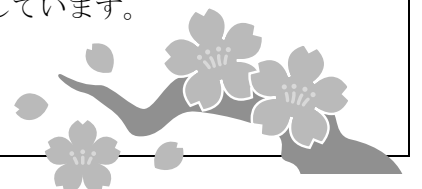
中高生の居場所づくりとして、週 2 回開館時間を延長します（中学生は午後 7 時まで、高校生は午後 8 時まで）。また、学区を巡回してコミュニティセンター等で児童館を開設する「移動児童館」の実施回数を増やします。

区民アンケートでいただいたご意見

☆子育てをしやすい環境を望みます。

☆子ども、赤ちゃんがのびのび遊べる場がほしいです。

☆「さくらひろば」は楽しく参加しました。さくらっこカレンダーも活用しています。



### 3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

#### (3) 健康づくりの推進

現状と課題

瑞穂区では、平成 21 年 3 月に健康づくりのボランティアグループ「健康ささえ隊」が結成され、自宅近くの身近な場所での健康づくりとして「みずほ体操」を実施しているほか、健康づくり教室や大腸がん検診・乳がん検診など、様々な健康づくりのための取り組みを行っています。

今後は、実施場所の拡大や効果的な PR により、幅広い世代の区民の方々が健康に対する関心が持てるようにすることが重要です。



指標

事 項	25 年度	26 年度（目標）
「健康ささえ隊」への参加者数	32,150 人	33,000 人
区民アンケート 「みずほ体操」を知っている人	8.5%	10%

主な取り組み

- ・ 高齢者サロン等における出張健康相談の実施（保健所・区社会福祉協議会）  
地域で開催されている高齢者ふれあいサロンや高齢者ふれあい給食会等に、保健所及びいきいき支援センターの保健師等が出向き、出張健康相談を実施します。



・「みずほ体操」の普及と「健康ささえ隊」の活動支援（保健所）

様々な保健所事業や広報媒体を通して「みずほ体操」や「健康ささえ隊」の活動を紹介します。  
「健康ささえ隊」が活動する区内 23 か所の「健康づくり会場」が、地域に浸透し発展するよう、活動を支援します。

・男性向け健康づくり教室の実施（保健所）

男性が参加しやすい教室をめざし、男性限定で、筋力アップなどを中心とした 5 日間コースの健康づくり教室を実施します。

・乳がん検診の出張検診の実施とPRの強化（保健所）

罹患率が増加している乳がんについて、利便性や地域ニーズに合わせた出張検診を実施するとともに、検診のPR を行いがん予防を推進します。



【健康ささえ隊の活動】



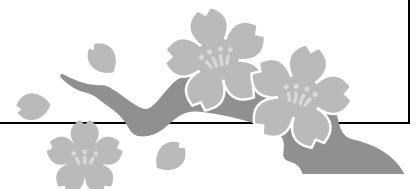
【男性向け健康づくり教室】



区民アンケートでいただいたご意見

☆ひとり暮らしの高齢者がいきいきと暮らしていけるよう、小学生と一緒にふれあう機会や、病気を予防する体操の教室などをもっと行うとよいと思います。

☆みずほ体操には行きたいと思っています。





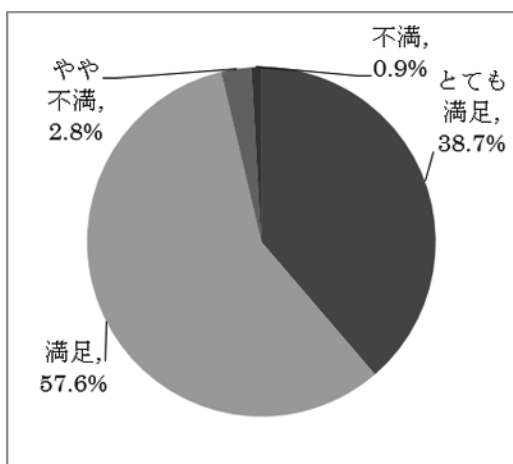
## 4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます

### (1) 快適な窓口サービスの提供

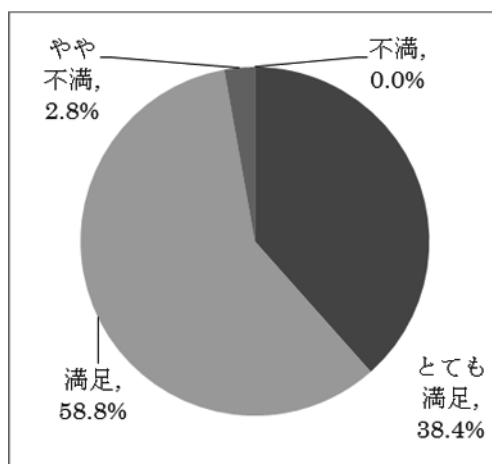
現状と課題

お客様目線に立って、親切・丁寧でわかりやすい説明を心がけ、区民のみなさまに快適な窓口となるよう、全職員が一丸となり、みなさまから信頼される区役所づくりに取り組みます。

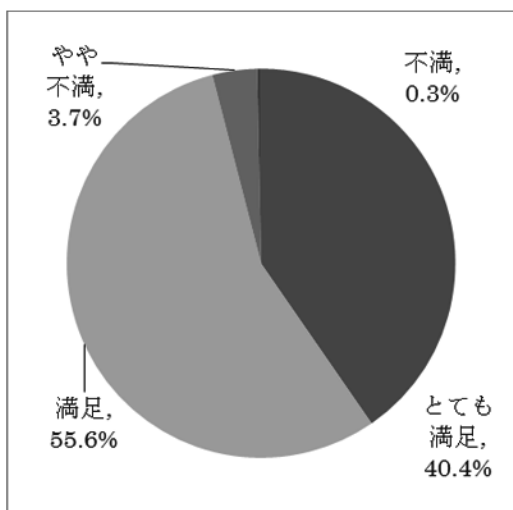
◇ご用件をお伺いするさい、話の聴き方や質問の仕方は感じのよいものでしたか？



◇ご用件に対する説明は、専門用語を避け、わかりやすいものでしたか？



◇窓口での対応に満足していただきましたか？



※平成 25 年度 さわやか市民サービス運動 第 2 回「窓口アンケート」実施結果より

指標

事項	25 年度	26 年度 (目標)
話の聴き方や質問の仕方についての満足度	95.7%	97%
わかりやすい説明についての満足度	97.5%	98%
窓口サービスに対する総合満足度	95.6%	97%

※上記数値は平成 25 年度 第 1 回及び第 2 回「窓口アンケート」実施結果の平均値です。

主な 取 り 組 み	<b>○日曜窓口の実施（実施時間の一部延長）（総務課・市民課・保険年金課・民生子ども課・福祉課）</b> より利用しやすい区役所をめざし、原則毎月1回、日曜日の午前中にも窓口業務を行います。平成26年度は実施時間を一部延長します。
	・ <b>正確で迅速な住民票の写し等の交付事務（市民課）</b> 各種証明書類を正確に発行・交付します。また、窓口での待ち時間を短縮するとともに、より快適にお待ちいただけるよう、手法を検討します。
	・ <b>住民票の写し等の様々な取得方法の案内（市民課）</b> 居住区以外の区役所や、平日の区役所開庁時間外でも、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍関係の証明書等を取得できる制度を周知することで、利便性の向上をはかります。
	・ <b>保険年金課窓口におけるフロアサービス実施（保険年金課）</b> 窓口案内・届書記載補助などを行うフロアサービス員を配置し、通常時の待ち時間10分以内、用件終了まで30分以内となるようつとめます。
	・ <b>お客様満足度向上・区役所サービス向上をめざした取り組みの実施（全課）</b> よりよい応対のための研修などを通じて、お客様満足度の向上をはかります。
	・ <b>ボランティア清掃の実施（総務課・企画経理室・まちづくり推進室）</b> 毎月定例的に区職員が「区役所の顔である玄関まわり」や区役所周辺を中心に清掃を行い、お客様に気持ちよくご利用いただけるようつとめます。 また、区内一円にわたって、保健所、土木事務所、環境事業所、消防署、社会福祉協議会や、区内の官公所（署）とも連携してボランティア清掃を実施します。

区民アンケートでいただいたご意見
☆窓口の土日対応をお願いします。
☆窓口での待ち時間を減らしてほしい。
☆区役所窓口の混雑状況表示は助かります。

## ■ご利用ください!! 区役所・支所の日曜窓口

午前8時45分から正午まで。

（平成26年4月6日と平成27年3月29日は午後2時まで）

転入・転出に関する窓口業務を行っています。

平成26年 4月6日 4月13日 5月11日 6月1日 7月6日  
8月3日 9月14日 10月5日 11月2日 12月7日  
平成27年 1月11日 2月1日 3月1日 3月22日 3月29日

※実施日は、やむを得ず変更または中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

参考：名古屋市ウェブサイト

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/24-3-15-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

## 4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます

### (2) 広報・広聴の充実など

現状と課題

現在瑞穂区では広報なごや、区ウェブサイト、情報サテライト（地下鉄瑞穂区役所駅構内に設置）、行政情報モニター（1階待合スペースに設置）等を利用して区民のみなさまへの情報発信を行っています。しかし、各種イベントや区政の取り組み内容など、区民における認知度が十分であるとは言えず、更なる広報の充実が必要であると考えています。

そのため平成 25 年度は区ウェブサイトのトップページの見直しを随時行ってきたほか、「区長の部屋」や瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」に関するコンテンツを充実させるなど、情報の量的・質的な充実をはかっています。

ほかに、区公式ツイッターに加えフェイスブックも開設し、情報発信のツールを増やすことにより、より多くの方に関心を持っていただけるように工夫しています。

また、広聴活動については、瑞穂区をより良くしていくため、継続的に区民ニーズを把握していく必要があることから、区民のみなさまのご意見をお伺いするために地域懇談会や区民アンケート等を実施しています。

◇区ウェブサイト総ページアクセス数

	23 年度	24 年度	25 年度
瑞穂区	371,615 件	429,584 件	473,675 件

指標

事項	25 年度	26 年度（目標）
区ウェブサイトコンテンツの数	464 ページ	487 ページ
区ウェブサイト総ページアクセス数 （トップページを含む全てのページ）	473,675 件	490,000 件

主な取り組み

#### ○広報の充実（まちづくり推進室）

広報なごや・区ウェブサイト・情報サテライト・行政情報モニター等をひきつづき活用するとともに、ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用した広報をいっそう推進し、積極的な広報を行います

主  
な  
取  
り  
組  
み

- ・瑞穂土木だよりの発行、名古屋市ウェブサイトへの掲載（土木事務所）  
瑞穂土木だよりを年2回発行するとともに名古屋市ウェブサイトへ掲載し、より親しまれる土木事務所をめざします。
- ・区民アンケートの実施（企画経理室）  
区政運営に関して区民のみなさまがどう感じているかを客観的にとらえることで、今後のまちづくりに活かします。
- ・広聴事務（地域懇談会等）の実施（まちづくり推進室）  
地域住民のご意見・ご提案などを直接お聞きし、行政に反映させるとともに区政についての広報をはかります。  
※地域懇談会・・・区長をはじめとした区内公所（署）長や関係局職員が各学区へ順次出向いて地域と直接意見交換をする場。
- ・明るい選挙の推進（総務課）  
「成人式における模擬投票」「選挙出前トーク」「選挙啓発区民講座」などに継続して取り組みます。
- ・区政推進会議の開催（企画経理室）  
区内官公所（署）の連携をすすめ、区における総合行政の推進をはかります。
- ・職員オフサイトミーティングの実施（企画経理室）  
職員が自由に意見交換するオフサイトミーティングを通じて、魅力が輝くまちづくりやお客様満足度向上の取り組みにつなげます。



【成人式における模擬投票】

区民アンケートでいただいたご意見

- ☆勤めで外に出ている層にも何らかの関わり方を考えた広報が大切だと思います。
- ☆このアンケートで初めて瑞穂区公式ツイッターアカウントがあることを知りました。
- ☆より多くの人に興味を持ってもらえるよう、楽しそうなホームページにしたりイベントを行い、活動を広めてもらえるといいと思います。

※「区民アンケートでいただいたご意見」について

平成25年度瑞穂区区民アンケート調査において寄せられたご意見から抜粋・要約したものです。

アンケート調査の概要

調査期間：平成25年7月25日（木）～平成25年8月7日（水）

調査対象：瑞穂区に居住する満20歳以上の区民 2,000人（無作為抽出）

回答数：調査票 846件（回答率42.3%）

設問内容：平成24年度の施策について実施した取り組み成果を十分であると感じているか 等